



夢を追い続けて

～トップアスリート 大部さんの生き方に学ぶ～

校長 山崎 泰央

ラグビーのワールドカップでは、日本代表選手の活躍に沸き立ちました。決勝トーナメントで南アフリカに負けはしましたが、目標のベスト8を達成した選手は晴れ晴れとした表情をしていました。夢を追い続け、チームメートを信じ、限界を超えるような努力をしてやり遂げた勇姿や「ワンチーム」としての連帯感に感動しました。

学校でも、夢を描いたり目標達成に向かって一步一步努力したりすることを大切にしています。その取組の一つとして、国内外や地域で活躍している人の生き方に学ぶ活動を行っています。私は、「現なでしこジャパン」のコーチである大部由美さんの生き方に感動した一人です。子どもたちにもその生き方のすばらしさに触れて欲しいと思い、今年もトップアスリートの大部さんをお迎えして、夢を持ち決してあきらめない生き方や努力の大切さを教えていただいたり、一緒にサッカーゲームを楽しんだりしました。さらに、卒業を控える6年生は、一緒に給食を食べながら交流し、思い思いの質問をしました。子どもたちは、世界各国の代表チームと渡り合いながら世界の人々の力強い生き方を自分の生き方に生かそうとされている大部さんの姿を肌で感じ取ることができたようです。

子どもたちの感想の一部を紹介します。

- 自分の好きなことに努力すると、スポーツでも勉強でも何でも広い世界につながると分かりました。大部さんは大好きなサッカーで世界とつながったので、ぼくも何かで世界とつながりたいです。
- ユニフォームを着せてもらった時に、「頑張るっていいな。試合で着られたユニフォームを身近で見られてうれしい。」と思いました。私も、大部さんみたいに目標に向かって頑張りたいと思いました。
- 大部さんのお話を聞いて、人にどう思われようと自分らしくいればいいんだと思いました。
- 大部さんの「自分を信じる」という言葉を聞いて、とても勇気が出ました。
- 自分の夢をかなえるためには自分の決めたことをやるのが大切だと分かりました。私も自分の正しいと思うことをやって、夢に向かっていきたいと思いました。

「あなたの両手の先には世界がある」という大部さんの言葉に、私は改めて、目の前で生き生きと目を輝かせて学ぶ子どもたちの夢を大切に、可能性を伸ばしたいという思いでいっぱいになりました。

これからも、子どもたちの将来を見据え、今大切にしなければならないことを伝えていきたいと思えます。